

# 荒川と宗岡周辺の自然

## 宗岡市街地

宗岡地区は、荒川と新河岸川に挟まれた低地です。洪水から守るため、村を囲った惣囲堤が今も残っています。大半が道路として利用されていますが、隣接して、神社や公園もありますが、隣接して、神社や公園もあります。また学校や、農地などもあり、比較的緑が多くあります。かつては、ほとんどが田んぼであり、野火止用水も引き込まれていました。低地であり、水が出ることから、農家などには水塚がありました。水害時に避難するため、母屋の隣に1m程盛り土をした水塚には、食料や衣類等を蓄えた蔵があり、避難用の小舟も、軒先などに備えていました。今でも、古い農家などには、水塚が残っています。現在の宗岡地区は、田んぼもほとんどなくなり、分譲された戸建て住宅が広がる静かな住宅地や倉庫などが多くなりました。緑地も少なくなりましたが、水塚のある古い民家の周りには、大きなシラカシやケヤキなどの屋敷林があり、野鳥や昆虫などの生き物に貴重な緑を提供しています。



水塚と屋敷林がある宗岡の旧家



惣囲堤。今も道路などとして利用され現存している



下の氷川神社



ニホンアマガエル



## 荒川堤外

荒川の堤防は、盛り土がかなり高いことから、堤防の斜面も広く、野草が沢山生え、広い緑の空間ができています。春には、菜の花で黄色く染まり、チョウなどの虫たちも飛び交い、とてもきれいです。川の流れている堤外は、広大な田んぼとなっていますが、グラウンドやパークゴルフ場もあり、スポーツも楽しめる場所となっています。5年に1度の花火大会もここで行われます。広い田んぼは、耕地整理が行われていないため、区割りは、曲がりくねったままとなっています。排水路が3つあり、水生の生き物も棲み、野草なども多く、野鳥もやってきます。ダイサギやコサギは、田んぼの中にい



荒川堤外に広がる水田

キジ



つでも見ることができ、チュウサギやタゲリもやってきます。休耕田の草むらなどには、キジが棲み、1年中姿を見ることができます。秋ヶ瀬取水堰からは、東京都の水道用水を取り込んでいますが、アザラシの「志木あらちゃん」がやってきたことでも有名になりました。



荒川と秋ヶ瀬取水堰